



ヒートポンプ給湯

▶福岡県芦屋町

地方独立行政法人 芦屋中央病院

贈呈理由

ヒートポンプ蓄熱給湯機・床暖房システムの導入により、省エネルギー・省コストを実現



芦屋中央病院

地域包括ケアシステムの中核病院となるべく新たな機能を追加し移転新築

1976(昭和51)年、町立病院として開設し、2015(平成27)年には地方独立行政法人となった芦屋中央病院は、急性期医療から慢性期医療までを行うケアミックス型の病院として地域住民の健康をサポートしてきた。「地域住民に信頼される病院」、「地域医療機関に信頼される病院」、「職員に信頼される病院」という3つの理念の元、事業を展開している。

2018(平成30)年1月、患者やその家族など利用者の信頼や満足度を高めるためにISO9001を認証取得した。

建屋の老朽化から18(平成30)年3月1日に移転新築し、①緩和ケア病棟の開設、②消化器病センターの開設、③患者支援センターの開設、④MRIの導入、⑤外来化学療法室の設置、⑥個室の多床室の導入、⑦健診センターの開設、⑧手術室にバイオクリーンルームを設置など、新たな機能を追加した。

特に個室の多床室は入院患者個々のプライバシーの確保や、眺望や採光

など環境面にも配慮した快適な療養空間となるように工夫されている。

エコキュートとLPG給湯機のハイブリッドシステムを採用

病院新築にあたり、給湯および床暖房設備については、環境性・省エネルギー性および昼間ピークの抑制によるコスト削減(電力負荷平準化)の観点から、エコキュートとLPG給湯機のハイブリッドシステムの採用を決定した。これによりLPG給湯機だけのシステムに比べ、約23%のエネルギー消費量の削減が図れる見通しである。

今後は給湯負荷の実績を分析しながら、貯湯量や貯湯温度などの最適運用を追求し、さらなる省エネルギー・省コストを目指す。



業務用エコキュート(中)と貯湯槽(奥)



個室の多床室

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	LPG給湯機 一次エネルギー消費量:2,823GJ
採用システム	業務用エコキュート+LPG給湯機 一次エネルギー消費量:2,185GJ



[諸元]同一負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(夜間)9.28MJ/kWh ※LPG 50.8MJ/kg
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

地方独立行政法人 芦屋中央病院

所在地:福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿283-7
建築設計:株式会社メイ建築研究所
建築施工:株式会社浅沼組
設備設計:昭和鉄工株式会社
設備施工:昭和鉄工株式会社
延床面積:11,893.7㎡
竣工:2017年12月新設
URL:<http://www.ashiya-central-hospital.jp/>



■設備概要

業務用エコキュート30kW×4台(昭和鉄工)
貯湯槽12㎡